

農業競争力強化支援法に基づく農業資材分野の 施策の取組状況（概要）

**平成30年9月
農 林 水 産 省**

目 次

- I 農業資材分野の施策の取組**
- II 国内外における農業資材の供給の状況に関する調査について**
 - i 国内における農業資材の供給に関する調査結果**
 - ii 海外における農業資材の供給に関する調査結果**

I 農業資材分野の施策の取組

I 支援法施行後1年間の取組進捗状況（規制・基準の見直し）

- 農業資材の規制・基準の見直しについては、国際的な標準との調和や昨今の経済社会情勢の変化等を踏まえ、規制等の点検を行い、法律の改正を含め、必要な見直しを実施してきたところ。
- 今後は、引き続き、各種資材について点検を進めるとともに、規制等の見直しの効果が早期に発揮されるよう、新たな制度や仕組みについて、農業者や農業資材事業者等の関係者に対する積極的な周知を実施。

取組進捗状況（概要）

農薬

- ・ 農薬の安全性の確保、国際的な標準との調和等を目的とする「農薬取締法の一部を改正する法律」が第196回通常国会において成立。
- ・ 平成29年4月に、作物群での登録を可能とする仕組みを導入。

肥料

- ・ 都道府県が定める施肥基準の見直しと肥料銘柄数の集約に向け、平成30年3月に、各都道府県の見直し方針の中間取りまとめ結果を公表。
- ・ 指定配合肥料の生産に使用できる材料を追加。

農業用機械

- ・ メーカーや担い手等と連携し、現場のニーズに直結した農業機械の迅速な開発スキームの構築。

種子・種苗

- ・ 都道府県等が持つ知見の民間事業者への提供に係る技術的助言を取りまとめて関係機関へ通知を発出（30年1月）。
- ・ 稲等の品種開発・種子生産に係る官民の連携促進に向けた情報交換会を開催（30年3月）。

今後の方向性

- ・ 定期的な再評価や、農薬使用者、動植物に対する安全性に関する審査の充実等による農薬の安全性の一層の向上
- ・ 登録の申請の簡素化によるジェネリック農薬が普及しやすい環境の整備
- ・ 生産量が少ない作物（マイナー作物）に使用可能な農薬の拡大 等

- ・ 銘柄の集約による肥料製造・販売コストの低減
- ・ 登録が要らず届出のみで生産できる配合肥料の生産の自由度拡大 等

- ・ 社会実装を見据えた農業機械の迅速な開発の促進 等

- ・ 官民の総力を挙げた種子供給体制の構築 等

資材全般

- ・ このほか、各種資材について、引き続き、規制・基準の点検・見直しを推進。

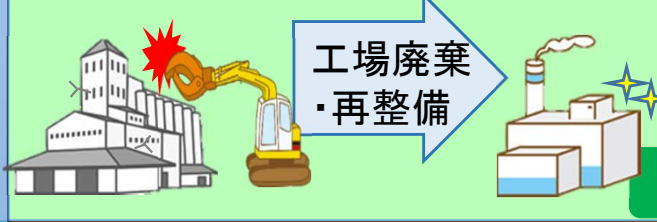
I 支援法施行後1年間の取組進捗状況（事業再編・参入）

- 農業資材分野における事業再編・参入については、農業資材事業者や関係団体を直接訪問し説明する等により、支援法に基づく支援措置を幅広く周知。また、事業者からの相談に対し、きめ細かく対応することにより、これまでに3件の事業再編計画を認定・公表。
- 引き続き、関係部局と連携して、農業資材事業者等へ働き掛けを行い、支援措置の活用を促進。

取組進捗状況（概要）

- ・ 様々な機会を捉えて事業者に対し周知を行い、事業者からの相談に丁寧に対応することにより、肥料製造事業者において1件、配合飼料製造事業者において2件の事業再編計画を認定。
- ・ 認定事業者においては、合理化による生産効率の向上に伴う販売価格の低減、労働コスト等を低減する高機能商品の生産・販売の拡大等により、農業者の資材コスト低減に寄与。

農業資材分野における事業再編計画の認定事例

飼料 平成29年10月認定 【清水港飼料株式会社】	肥料 平成30年4月認定 【セントラル化成株式会社】	飼料 平成30年5月認定 【太田油脂株式会社】
〔再編内容〕 ・ 配合飼料の製造・出荷体制の集約・機能強化による生産・販売の効率化（3工場→2工場） 〔効果〕 ・ 合理化によるコスト削減により、販売価格を低減 	〔再編内容〕 ・ 製造設備の廃棄・新設による製造体制の集約・機能強化 〔効果〕 ・ 施肥量・施肥労力の低減に資する高機能商品の生産・販売の拡大 設備廃棄・再整備 	〔再編内容〕 ・ 製造設備の集約、製造方法の合理化 〔効果〕 ・ 従来よりも高品質な商品を安価に提供 

I 支援法施行後1年間の取組進捗状況（資材価格の「見える化」）

- 農業資材価格の「見える化」については、平成29年6月から、農業者が農業資材の価格やサービス等を比較できるウェブサイト「AGMIRU(アグミル)」の運用を開始。また、国内外の農業資材の価格についての調査を実施。
- 今後は、アグミルの機能の改善や国内外の農業資材価格の調査結果の公表を踏まえ、農業者に対する更なる周知を図り、農業者の資材コスト削減の取組を積極的に後押し。

取組進捗状況(概要)

AGMIRU（アグミル）

〔取組内容〕

- ・ 平成29年6月に農業資材比較ウェブサイト「AGMIRU(アグミル)」の運用を開始。
- ・ 運営企業等と連携し、様々な機会を捉えて利用拡大に向けたPRを実施し、登録者数は4,557件に増加（平成30年9月11日時点）。
- ・ 平成29年12月の有識者検討会での改善要望を踏まえ、商談成立事例の掲載や入力様式の利便性向上等のシステム改善を実施し、更なる活用を促進。

農業資材比較サイト「AGMIRU」の仕組み



〔対象資材〕

肥料、農薬、農業機械、
種苗、飼料

実際の活用事例〔効果〕

農業者

- ・ ネギの種について購入依頼を行ったところ、今まで付き合いのない2社からすぐに提案があり、その内の1社と商談成立まで至った。
- ・ 新しい取引先との出会いで資材購入の視野が広がった。



販売事業者

- ・ 登録するとすぐに複数の農家や農業法人より依頼があり、サイト上で簡単にお客様とコミュニケーションがとることができた。

国内外の農業資材価格の調査

- ・ 海外において米国、伊国及び韓国における農業資材価格の調査を実施。
- ・ 国内において担い手が利用している資材販売店等における資材販売価格の調査を実施。

II 国内外における農業資材の供給 の状況に関する調査について

II 国内外における農業資材の供給に関する調査について

- ・ 農業競争力強化支援法第16条第1項及び附則第2条第1項に基づく施行後おおむね1年以内に行う国内外における農業資材の供給に関する調査として、
 - I 国内において担い手が利用している資材販売店等における資材販売価格の調査
 - II 米国、伊国及び韓国における農業資材価格の調査を実施。

I 国内における農業資材供給の調査

- ・ 肥料、農薬等について、担い手が日頃利用している資材販売店等を対象に、販売価格等についての調査を実施。

[調査方法]

- ・ 資材販売店約480店舗に対し、調査票の郵送により、肥料・農薬等の主な銘柄についての販売価格の調査を実施。約320店舗から回収。

[調査資材]

肥料、農薬、被覆資材、段ボール

※ 上記のほか、以下の資材について、別途、調査を実施。

- ・ 農業機械： 主要メーカーに対して、最も売れている型式の希望小売価格の聞き取り調査を実施。
- ・ 配合飼料： 畜産経営者に対して、購入価格のアンケート調査を実施。
- ・ 農業用ハウス： 資材販売店に対して、パイプハウスの本体価格(施工費込み)のアンケート調査を実施。別途、耐候性ハウスも調査を実施。

II 海外における農業資材供給の調査

- ・ 肥料、農薬、農業機械等について、米国、伊国の販売価格の調査を実施。また、平成28年度に調査を実施した韓国についても、継続して調査を実施。

[調査方法]

- ・ 各農業資材について、公的機関による公表資料や民間企業等の公表データによる文献調査を行い、比較可能な銘柄等を選定。
- ・ また、資材の選定、価格の調査に当たり、担い手農業者等による対象国の農家、資材小売業者、研究機関等への聞き取り調査等を実施。

[調査資材]

肥料、農薬、農業機械、配合飼料

農業競争力強化支援法(平成二十九年法律第三十五号)(抄)

第三節 施策の検討

第十六条 政府は、おおむね五年ごとに、国内外における農業資材の供給及び農産物流通等の状況に関する調査を行い、これらの結果を公表するものとする。

2 政府は、おおむね五年ごとに、前二節に定める施策を含め、良質かつ低廉な農業資材の供給又は農産物流通等の合理化を実現するための施策の在り方について、農業者による農業の競争力の強化の取組を支援する観点から検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

附 則 (経過措置)

第二条 第十六条第一項の規定による最初の調査は、この法律の施行の日からおおむね一年以内に行うものとする。

2 第十六条第二項の規定による最初の検討は、この法律の施行の日からおおむね二年以内に行うものとする。

i 国内における農業資材の供給に関する 調査結果

i 国内における農業資材の供給に関する調査（肥料）

- 肥料については、主な単肥、化成肥料及び緩効性肥料について調査を実施。各調査対象銘柄とも販売価格に大きな幅がある。

【肥料】

（単位：円）

種別	銘柄	成分 (N%-P%-K%)	規格	通常価格 【最小価格～最大価格（平均価格）】
単肥	石灰窒素（粒）	20-0-0	20kg	1,900～4,258 (3,019)
単肥	硫安（硫酸アンモニウム）（粒）	21-0-0	20kg	720～1,780 (1,073)
単肥	尿素（粒）	46-0-0	20kg	972～2,527 (1,591)
単肥	過リン酸石灰（粒）	0-17.5-0	20kg	1,080～1,980 (1,573)
単肥	ヨウリン（粒）	0-20-0	20kg	820～2,401 (1,756)
単肥	塩化カリウム（粒）	0-0-60	20kg	1,042～2,894 (1,846)
化成肥料	一般高度化成（14-14-14）	14-14-14	20kg	1,100～2,354 (1,470)
化成肥料	一般高度化成（16-16-16）	16-16-16	20kg	1,600～3,520 (2,176)
化成肥料	NK化成	17-0-17	20kg	1,228～2,862 (1,790)
緩効性肥料	基肥一発肥料	-	20kg	2,100～5,044 (3,257)

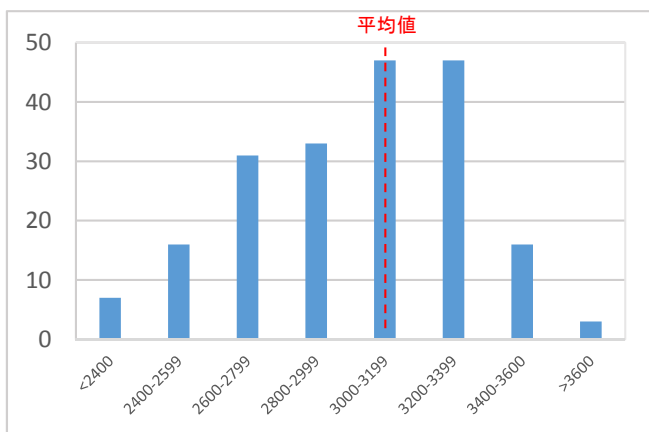
※ 農業資材販売店に調査票を郵送しアンケート調査を実施（平成30年2月）。価格については、消費税込み価格で、割引等は含んでいない。

i 国内における農業資材の供給に関する調査（肥料）

石灰窒素（粒） 20kg

通常価格1,900円～4,258円

（平均価格/3,019円、回答数：200）

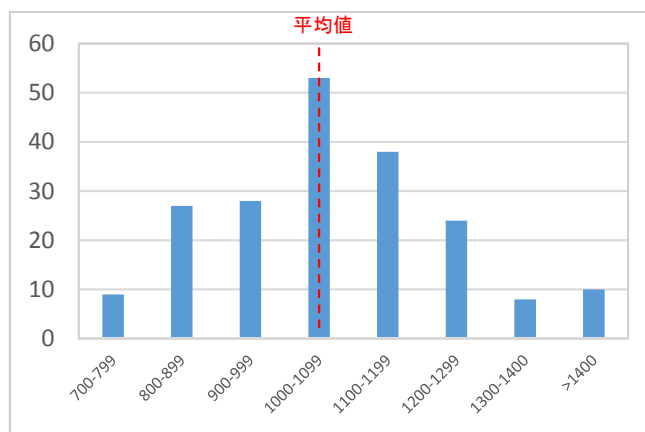


（用途）単肥/窒素質肥料

硫安（粒） 20kg

通常価格720円～1,780円

（平均価格/1,073円、回答数：197）

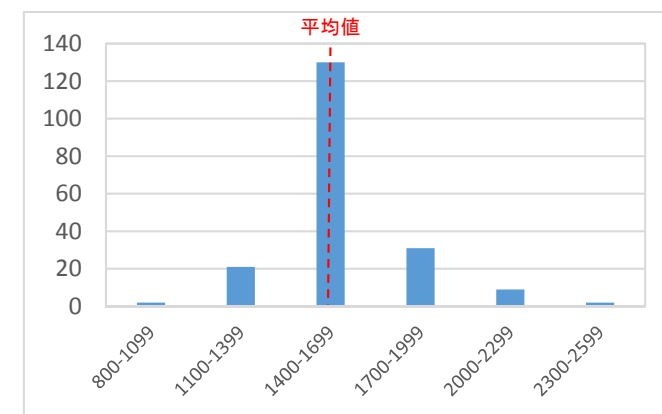


（用途）単肥/窒素質肥料

尿素（粒） 20kg

通常価格972円～2,527円

（平均価格/1,591円、回答数：195）

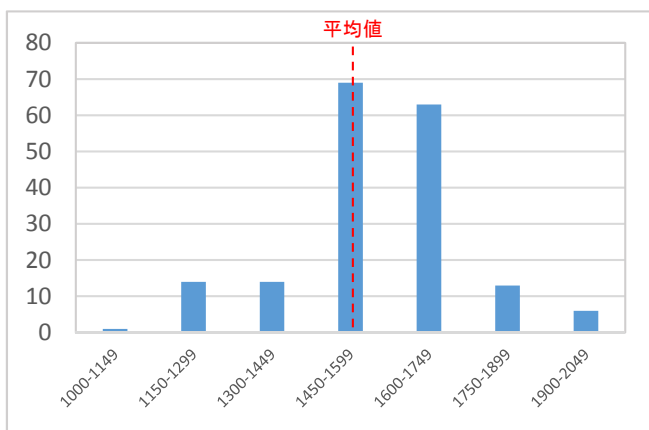


（用途）単肥/窒素質肥料

過リン酸石灰（粒） 20kg

通常価格1,080円～1,980円

（平均価格/1,573円、回答数：180）

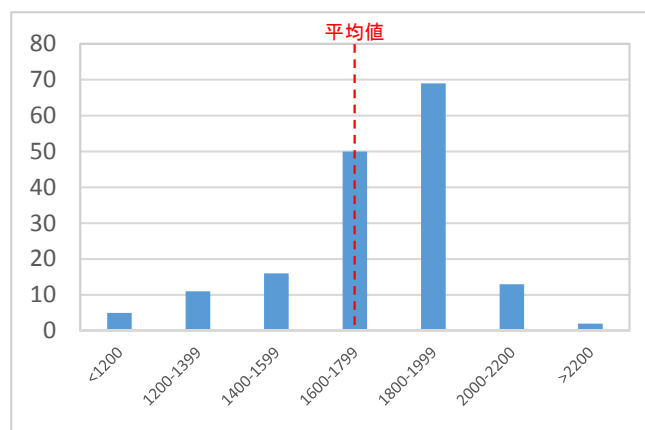


（用途）単肥/リン酸質肥料

ヨウリン（粒） 20kg

通常価格820円～2,401円

（平均価格/1,756円、回答数：166）

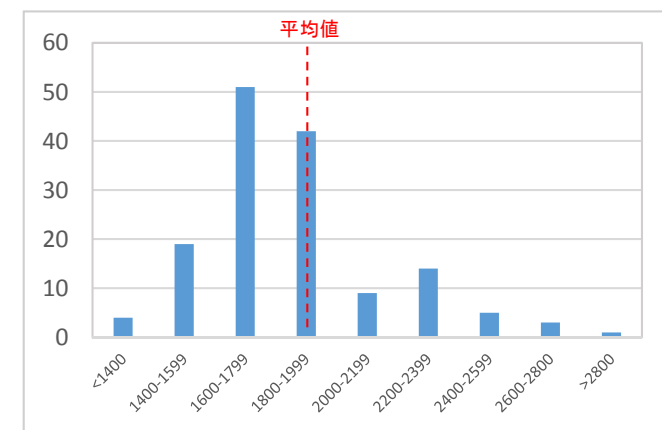


（用途）単肥/リン酸質肥料

塩化カリウム（粒） 20kg

通常価格1,042円～2,894円

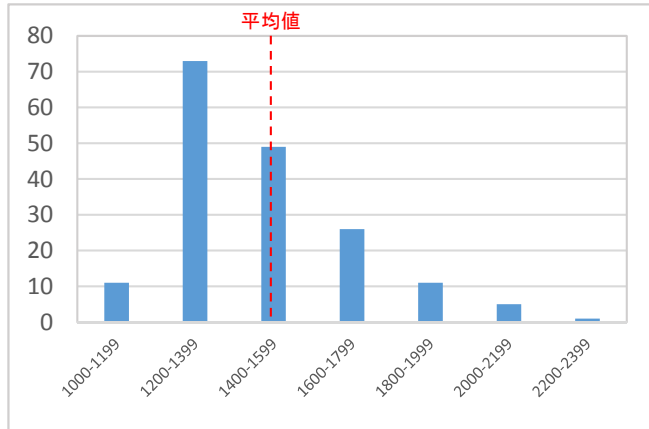
（平均価格/1,846円、回答数：148）



（用途）単肥/カリ質肥料

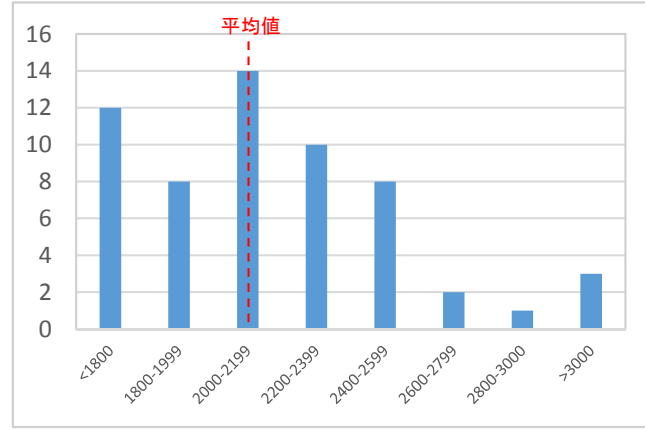
i 国内における農業資材の供給に関する調査（肥料）

一般高度化成（14-14-14） 20kg
通常価格1,100円～2,354円
(平均価格/1,470円、回答数：176)



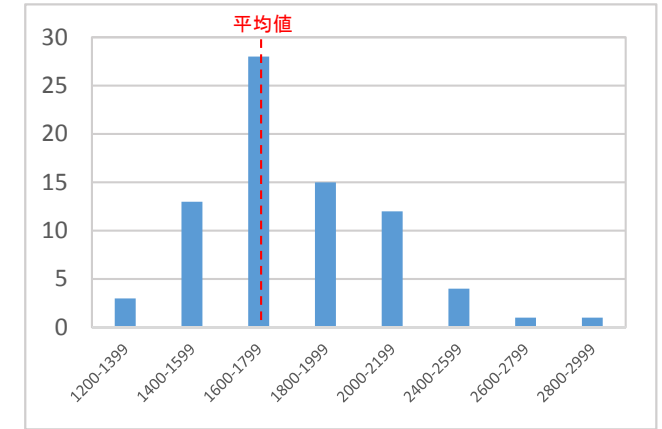
(用途)基肥用

一般高度化成（16-16-16） 20kg
通常価格1,600円～3,520円
(平均価格/2,176円、回答数：58)



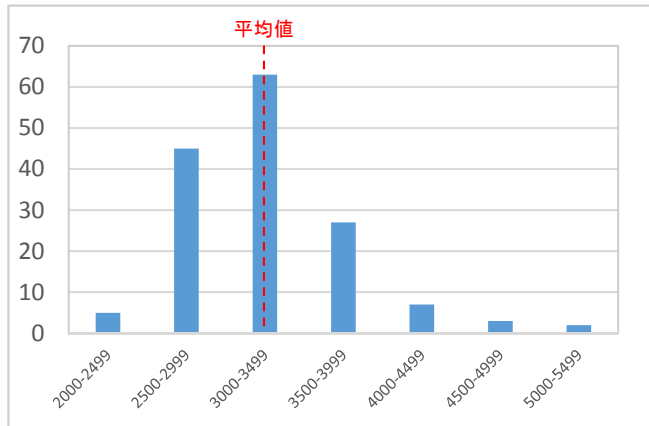
(用途)基肥用

NK化成 20kg
通常価格1,228円～2,862円
(平均価格/1,790円、回答数：66)



(用途)追肥用

基肥一発肥料 20kg
通常価格2,100円～5,044円
(平均価格/3,257円、回答数：152)



(用途)基肥用